

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 京都市洛西ふれあいの里療護園の運営について

当施設は平成元年に開所し、ご利用者も歳を重ねられ、加齢による重度化が進み、医療的ケアが必要な方も増えてきているため安全を最優先し、安心して生活を継続していただけるように心がけています。日常の健康状態を把握し、緊急時の迅速な対応が出来るようにスタッフ間の情報共有と施設内医療職や地域医療機関との連携を大切にしています。また、一人ひとりが、主体的に生活されるのに必要な支援をさせていただいていますが、今後は更に日中の様々な活動プログラムを充実させていきたいと思っています。

### 当施設の収入と支出

<当施設の利用者数>

令和元年度	施設入所延べ利用者数	16,723名
令和元年度	短期入所延べ利用者数	1,298名

<支出> 総額 2.95 億円  
**利用者 1 人当たりの運営経費 16,360円 (A)**

人件費 11,390円	事業費 2,730円	事務費 1,960円	少額修繕費 210円	その他 70円
----------------	---------------	---------------	---------------	------------

<収入> 総額 0.25 億円 総額 2.70 億円  
**利用者 1 人当たりの収入 1,370円 (B)**

利用者負担額 1,250円 (8%)	その他の収入 120円 (0.1%)
--------------------------	--------------------------

(A) - (B)  
**差額 14,990円 (92.9%)**

市民の税金で負担 (公費で負担)

いずれも概数  
10円単位で四捨五入

○ 施設を利用しない方も含めた市民の負担 (公費負担) により、  
 現行の利用料金等で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担 (施設使用料等) と公費負担 (市民の皆様に納めていただく税金) などにより賅われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。